

平成26年度 男女共同参画に関する市民意識調査・調査票

それぞれの設問について、該当する記号を○で囲んでください。
ご回答にあたっては、平成26年8月1日時点の内容でお答えください。

問1 現在、次の1～8の分野で、男女の地位は対等であると思われますか。
それぞれ、ア～カで当てはまるものを1つ選んで○で囲んでください。

項目	対等である	女性に対する重視さ	視えどさばちれ女らて性がとる重い	男性に対する重視さ	視えどさばちれ男らて性がとる重い	えどちいらともい
(例)「対等」と思われた場合…	Ⓐ	イ	ウ	エ	オ	カ
1 家庭生活	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
2 職場	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
3 自治会など地域活動の場	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
4 学校教育の場	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
5 法律や制度の面	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
6 政治の場	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
7 社会の慣習・しきたりなど	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
8 社会全体	ア	イ	ウ	エ	オ	カ

問2 今後、社会のあらゆる分野で、男女が対等な立場で協力していくためにはどのようなことが必要だと思われますか。

次の1～8の中から必要だと思うものを2つ選んで○で囲んでください。

- 1 法律や制度の上での見直しを行い、男女差別につながるものを改めること
- 2 男女を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること
- 3 女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に力の向上を図ること
- 4 女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること
- 5 政府や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること
- 6 特に必要なことはない
- 7 わからない
- 8 その他（具体的に

)

問3 一般的に、女性が職業を持つことについて、どのように思われますか。
次の1～7の中から当てはまるものを1つ選んで○で囲んでください。

- 1 女性は職業を持たない方がよい
- 2 結婚するまでは、職業を持つ方がよい
- 3 子どもができるまでは、職業を持つ方がよい
- 4 子どもができたら仕事をやめ、子どもが大きくなったら再び職業につく方がよい
- 5 結婚、出産、育児にかかわらず、ずっと職業を持つ方がよい
- 6 わからない
- 7 その他（具体的に _____)

問4 今後、男女共同参画社会を進めるために、女性が増えた方がよいと思う職業や役職などはどれですか。

次の1～13の中から2つ選んで○で囲んでください。

- 1 都道府県、市（区）町村の首長
- 2 国会議員、都道府県議会議員、市（区）町村議会議員
- 3 都道府県、市（区）町村の審議会等の委員
- 4 国家公務員・地方公務員の管理職
- 5 裁判官、検察官、弁護士、医師
- 6 大学教授
- 7 企業の経営者・管理職
- 8 労働組合の幹部
- 9 農協・漁協の役員
- 10 自治会長、町内会長等
- 11 特にない
- 12 わからない
- 13 その他（具体的に _____)

問5 今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。

次の1～13の中から必要だと思うものをすべて選んで○で囲んでください。

- 1 男性が家事などに参加することに対する、男性自身の抵抗感をなくすこと
 - 2 男性が家事などに参加することに対する、女性の抵抗感をなくすこと
 - 3 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること
 - 4 まわりの人が夫婦間における家事等の役割分担について、当事者の考え方を尊重すること
 - 5 社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動について、その評価を高めること
 - 6 労働時間短縮や休暇制度の普及により、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
 - 7 男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心を高めるよう啓発や情報提供を行うこと
 - 8 国や自治体などの研修等により、男性の家事や子育て、介護などの技能を高めること
 - 9 男性が子育てや介護、地域活動を行うための、仲間（ネットワーク）作りをすすめること
 - 10 家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること
 - 11 特に必要なことはない
 - 12 わからない
 - 13 その他（具体的に
- ）

問6 次の1～9の言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものをすべて選んで○で囲んでください。

用語		本調査における用語の説明
1	男女共同参画社会	男女が社会の対等な構成員として、自らの意思であらゆる分野の社会活動に参画する機会が確保される社会。
2	女子差別撤廃条約	1979年に国連で採択。日本は1985年に批准。2012年6月現在条約批准国は187カ国。男女の完全な平等の達成を目的として、女子に対するあらゆる差別を撤廃することを基本理念とする。
3	ポジティブ・アクション (積極的改善措置)	様々な分野での活動参画の機会の男女間格差を改善するため実施されるもの。 (例) 国の審議会委員等や国家公務員の女性登用の促進等
4	ジェンダー	社会通念や慣習の中で社会的・文化的に作り上げられた「男性像」「女性像」などのような性別の考え方。
5	固定的な性別役割分担	男女の性別を理由として役割を固定的に分けること。「男は仕事・女は家庭」「男は主要業務・女は補助的業務」などが一例。
6	DV (ドメスティック ・バイオレンス)	配偶者暴力防止法における「配偶者からの暴力」とほぼ同義語として、配偶者・恋人・パートナーなどからの身体的暴力および心身に有害な影響を及ぼす言動を指す。
7	セクシャル・ハラスメント (性的嫌がらせ)	様々な生活の場における人間関係において、優位な力関係を背景に、相手の意思に反して行われる性的な言動。
8	ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)	やりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、多様な生き方ができるように、個人、企業、社会による仕事と生活の両立のための取組。
9	この中に、見たり聞いたりしたものはない	

問7 家庭、結婚、離婚については、様々な意見がありますが、あなたはどのように思われますか。
 次の1～9について、ア～カの中から当てはまるものを1つ選んで○で囲んでください。

項 目	賛成	賛成 どちらかといえば	どちらとも いえない	反対 どちらかといえば	反対	わからない
1 結婚は個人の自由であるから、結婚 しなくてもどちらでもよい	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
2 夫は外で働き、妻は家庭を守るべき である	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
3 女性は結婚したら、自分自身のこ とより夫や子どもなど、家族を中心 に考えて生活した方がよい	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
4 結婚しても必ずしも子どもを持つ 必要はない	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
5 子どもを産むか産まないかは話合 いのうえ、出産する女性自身の考え や判断を尊重すべき	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
6 女の子は女の子らしく、男の子は男 の子らしく育てたほうがよい	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
7 男の子には女の子よりも高等教育 を受けさせたい	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
8 男の子も、家事ができるように育て る方がよい	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
9 結婚しても、互いに協力し合う家庭 を築けない場合は、離婚を選択して もよい	ア	イ	ウ	エ	オ	カ

問8 生活の中での「家庭生活」「仕事」「地域活動」の優先度について、おたずねします。
次の表で「1 あなたの希望・理想」、「2 あなたの現状・現実」に最も近いものを、
ア～クの中からそれぞれ1つ選んで○で囲んでください。

項 目	家庭生活を優先	仕事を優先	地域活動を優先	家庭生活・仕事をともに優先	仕事と地域活動をともに優先	家庭生活と地域活動をともに優先	どれも優先	わからない
1 あなたの希望・理想	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク
2 あなたの現状・現実	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク

問9 「家庭で担われている『育児』『介護』などについては、社会的にも重要なので、社会全体で評価し、支えていこう」という意見があります。あなたは、どのような形で評価されるのが望ましいと思われますか。

次の表の1～4について、ア～オの中から当てはまるものをそれぞれ1つ選んで○で囲んでください。

項 目	手当の支給や税制上の優遇などで経済的に評価	表彰するなどして社会的に評価	この役割を経済的・社会的に評価する必要はない	その他	わからない
1 育児	ア	イ	ウ	エ	オ
2 介護	ア	イ	ウ	エ	オ
3 育児・介護以外の家事	ア	イ	ウ	エ	オ
4 自治会などの地域活動	ア	イ	ウ	エ	オ

問 10 家庭での役割分担について、あなたはどのように思われますか。

(1) 次の 1 から 9 までの場面で、夫婦のどちらがその役割を行うべきだと思いますか。

次の表のア～オの中から当てはまるものをそれぞれ1つ選んで、○で囲んでください。

項 目	お も に 妻 が 行 う べ き	お も に 夫 が 行 う べ き	夫 婦 共 同 で 行 う べ き	そ の 他	わ か ら な い
1 掃除	ア	イ	ウ	エ	オ
2 洗濯	ア	イ	ウ	エ	オ
3 食事の支度、後片づけ	ア	イ	ウ	エ	オ
4 乳幼児の世話	ア	イ	ウ	エ	オ
5 子どもの教育	ア	イ	ウ	エ	オ
6 家族の介護	ア	イ	ウ	エ	オ
7 家計の管理	ア	イ	ウ	エ	オ
8 PTA・自治会等の活動への参加	ア	イ	ウ	エ	オ
9 家庭問題における最終的な決定	ア	イ	ウ	エ	オ

※次の(2)は、現在ご結婚されている方（事実婚を含む）におたずねします。

(該当されない方は問12へ)

(2)あなたの家庭では、実際にどなたが次の1から9までの役割を行っていますか。
次のア～オの中から当てはまるものをそれぞれ1つ選んで、○で囲んでください。

項 目	ておもに妻が行っている	ておもに夫が行っている	夫婦共同で行っている	夫婦以外の人が行っている	ア～エどれにも当てはまらない
1 掃除	ア	イ	ウ	エ	オ
2 洗濯	ア	イ	ウ	エ	オ
3 食事の支度、後片づけ	ア	イ	ウ	エ	オ
4 乳幼児の世話	ア	イ	ウ	エ	オ
5 子どもの教育	ア	イ	ウ	エ	オ
6 家族の介護	ア	イ	ウ	エ	オ
7 家計の管理	ア	イ	ウ	エ	オ
8 PTA・自治会等の活動への参加	ア	イ	ウ	エ	オ
9 家庭問題における最終的な決定	ア	イ	ウ	エ	オ

問 11 現在ご結婚されている方（事実婚を含む）におたずねします。

あなたの配偶者（パートナー）が家庭で担っている役割について、あなたは
どう思われますか。

次の表の満足度 1～3 から 1つ 選び、さらにその理由をア～シの中から 1つ 選んで
○で囲んでください。

満 足 度	理 由
1 現状に充分満足 している	ア 配偶者（パートナー）は、家事・育児・介護をする時間があり、 よくやっている イ 配偶者（パートナー）は、家事・育児・介護をする時間があまり 取れない状況の中で、よくやっている ウ 時間のあるなしにかかわらず、家事・育児・介護は自分がするの が当然だと思っている エ その他（ ）
2 もう少しやって 欲しい	オ 配偶者（パートナー）には、家事・育児・介護をする時間はある ので、もう少しやってほしい カ 配偶者（パートナー）は、家事・育児・介護をする時間は作れる ので、時間を作り、もう少しやってほしい キ 時間のあるなしにかかわらず、家事・育児・介護は配偶者（パー トナー）がするのが当然だと思っている ク その他（ ）
3 満足は していない	ケ 満足はしていないが、配偶者（パートナー）は、時間が取れない 状況なので、これ以上家事・育児をやってほしいとは言えない コ 満足はしていない。配偶者（パートナー）には、家事・育児・介 護をする時間はあるが、言えない雰囲気がある サ 時間のあるなしにかかわらず、家事・育児・介護は配偶者（パー トナー）がするのが当然だと思っている シ その他（ ）

問 12 職業をお持ちの方におたずねします。 *（職業をお持ちでない方は**問 14**へ）
あなたが働いている主な理由は何ですか。
次の1～17の中から当てはまるものをすべて選んで○で囲んでください。

- 1 生計を維持するため
- 2 家計の足しにするため
- 3 住宅ローンなど借金の返済のため
- 4 教育資金を得るため
- 5 将来に備えて貯蓄するため
- 6 自分で自由に使えるお金を得るため
- 7 生きがいを得るため
- 8 自分の能力・技能・資格をいかすため
- 9 視野を広げたり、友人を得るため
- 10 社会に貢献するため
- 11 仕事をするのが好きだから
- 12 働くのが当然だから
- 13 時間的に余裕があるから
- 14 家業であるから
- 15 特に理由はない
- 16 わからない
- 17 その他（具体的に)

問 13 職業をお持ちの方におたずねします。
あなたは、今の職場の仕事内容や待遇の面で、性別を理由とした男女間の差があると思われますか。
次の1～11の中から当てはまるものを2つまで選んで○で囲んでください。

- 1 差はない
- 2 正社員の中でも賃金に差がある
- 3 昇進、昇格に差がある
- 4 能力が正当に評価されない
- 5 性別を理由に補助的な仕事しかやらせてもらえない
- 6 幹部職員への登用が性別で偏っている
- 7 結婚したり子どもが生まれたりすると、勤め続けにくい雰囲気がある
- 8 性別により、定年まで勤め続けにくい雰囲気がある
- 9 教育・訓練を受ける機会が少ない
- 10 わからない
- 11 その他（具体的に)

問 14 職業をお持ちでない方におたずねします。

あなたが職業をお持ちでない主な理由は何ですか。

次の1～17の中から当てはまるものをすべて選んで○で囲んでください。

- 1 経済的に働く必要がないから
- 2 職業をもたない方が自分のやりたいことができるから
- 3 家にいるのが当然だから
- 4 家事や育児がおろそかになるから
- 5 家事の負担が大きいから
- 6 育児の負担が大きいから
- 7 健康や体力に自信がないから
- 8 希望どおりの仕事を得られないから
- 9 配偶者や子どもなど家族が望まないから
- 10 親や病気の家族の世話をするため
- 11 現在、学校に通っているから
- 12 高齢だから
- 13 働くことに向いていないから
- 14 働くことが好きでないから
- 15 特に理由はない
- 16 わからない
- 17 その他（具体的に)

問 15 すべての方におたずねします。性別にかかわらず、各自の能力を發揮して生き生きと働くためには、どのようなことが必要だと思われますか。

次の1～11の中から当てはまるものを2つまで選んで○で囲んでください。

- 1 同じ価値のある仕事については、パート・正社員で差をつけずに同じ賃金にする
- 2 労働時間を調整して、地域活動や家庭のことに時間を確保できる仕組みをつくる
- 3 職場の意思決定の場に女性を積極的に参加させる
- 4 お茶くみ、コピーとりなど補助的な仕事は、男女の別なく行う
- 5 育児・介護休暇等を男女ともに取りやすくする
- 6 職場で、セクシュアル・ハラスメント防止の人権教育をしっかりとる
- 7 昇給・昇格の条件となる教育を男女で差をつけずに平等に受けられるようにする
- 8 企業・事業所に対する男女共同参画についての広報・啓発を積極的に行う
- 9 特にない
- 10 わからない
- 11 その他（具体的に)

問 16 あなたは、配偶者や親しい異性（恋人等）の間での暴力（DV＝ドメスティック・バイオレンス）やその被害について、見たり聞いたりしたことがありますか。
次の 1～7 の中から当てはまるものをすべて選んで○で囲んでください。

- 1 身近に被害を受けた人がいる
- 2 身近な人から、暴力被害について相談されたことがある
- 3 テレビや新聞などで問題になっていることは知っている
- 4 見たり聞いたりしたことはない
- 5 自分自身が被害にあっている
- 6 その他
- 7 わからない

問 17 次の 1～15 の中から、あなたが配偶者や親しい異性（恋人等）の間での暴力（DV＝ドメスティック・バイオレンス）に含まれると思うものをすべて選んで○で囲んでください。

- 1 平手で打つ
- 2 こぶしでなぐる
- 3 足でける
- 4 物を使ってなぐる
- 5 なぐるふりをして、おどす
- 6 刃物などを使って、おどす
- 7 相手が嫌がっているのに性的行為を強要する
- 8 避妊に協力しない
- 9 相手が嫌がっているのに性的な映像・雑誌などを見せる
- 10 長期間、無視する
- 11 相手の行動を監視したり、交友関係を制限して干渉する
- 12 相手のプライドが傷つくようなことを言う
- 13 大声でどなる
- 14 物をこわす
- 15 生活費を渡さないなど、経済的に圧力をかける

問 18 次の 1～10 の中から、配偶者や親しい異性（恋人等）の間での様々な暴力（DV＝ドメスティック・バイオレンス）を受けたときの相談窓口として、あなたが知っているものをすべて選んで○で囲んでください。

- 1 警察
- 2 法務局・人権擁護委員
- 3 裁判所
- 4 長崎県弁護士会
- 5 民間の機関
- 6 長崎県子ども・女性・障害者支援センター
- 7 長崎市役所（安全安心課・市民相談窓口）
- 8 長崎市役所（アマランス(※)相談窓口）
（※）アマランス＝長崎市男女共同参画推進センター（長崎市民会館 1 階）
- 9 その他の機関
- 10 知らない・わからない

問 19 長崎市では、配偶者や親しい異性（恋人等）の間での様々な暴力（DV＝ドメスティック・バイオレンス）を防止するための広報・啓発活動を行っていますが、あなたはそれを知っていますか。

また、その広報などを見たり聞いたりしたことはありますか。

次の 1～5 の中から当てはまるものをすべて選んで○で囲んでください。

- 1 知っている
- 2 知らない
- 3 見たり、聞いたりしたことがある
- 4 見たり、聞いたりしたことはない
- 5 わからない

問 20 男性も女性も暮らしやすい「男女共同参画社会」の実現のため、今後、長崎市をはじめとする行政は、どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。
次の1～13の中から当てはまるものをすべて選んで○で囲んでください。

- 1 法律や制度の面で見直しを行う
- 2 女性を政策決定の場に積極的に登用する
- 3 各種団体の女性のリーダーを養成する
- 4 職場における男女の均等な取り扱いについて周知徹底を行う
- 5 女性の就労の機会を増やしたり、従来、女性の就労が少なかった分野などへの女性の進出を促進するため、職業教育や職業訓練を充実する
- 6 保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する
- 7 学校教育や社会教育等の生涯教育の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する
- 8 女性や男性の生き方に関する情報提供や交流の場、相談、教育などのセンターを充実する
- 9 各国の女性との交流や情報提供など、国際交流を推進する
- 10 広報誌やパンフレットなどで、男女の平等と相互の理解や協力についてPRする
- 11 特にない
- 12 分からない
- 13 その他（具体的に _____)

問 21 長崎市で「男女共同参画社会」を実現するため、あなたのアイデアやご意見などをお聞かせください。

※最後に、今回の調査回答を統計的に分析するために、あなた様ご自身のことについて、おたずねします。①～⑥について、それぞれ当てはまるものを○で囲んでください。

① あなたの性別

- 1 男性 2 女性

② あなたの年齢

1. 20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代 5. 60代
6. 70代 7. 80代以上

③ あなたの職業

自営業者 (経営者)	1 農業、林業、漁業 2 商工業、製造業、サービス業（各種卸・小売店、飲食店など） 3 自由業（開業医、弁護士等）
---------------	---

家族従業者	4 農業、林業、漁業 5 商工業、製造業、サービス業（各種卸・小売店、飲食店など） 6 自由業（開業医、弁護士等）
-------	---

雇用されている者 (役員を含む)	7 役員・管理職 8 専門・技術職 9 事務職 10 販売・サービス・保安職 11 農林漁業職 12 生産・輸送・建設・労務職	➡	そのお仕事は	ア 常勤（フルタイム） イ 非常勤 ウ パートタイム （パートやアルバイト） エ 契約社員、派遣社員 オ その他
---------------------	--	---	--------	---

無職	1 主婦・主夫 2 学生 3 その他
----	--------------------------

④ あなたは現在ご結婚されていますか。

- 1 結婚している（事実婚を含む） 2 離別・死別 3 未婚

⑤ あなたの世帯の構成

- 1 単身世帯 2 本人と配偶者のみ 3 本人と配偶者、子ども
4 本人と配偶者、子ども、父や母（三世代世帯） 5 本人と子ども
6 本人と親 7 その他（ ）

⑥ お子さん（別居を含む）はいらっしゃいますか。

- 1 いない 2 いる

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

調査票は、同封の返信用封筒に入れて、投函してください。